

現役より 白山登山

R4 年度部長 水谷冠太

2022 年 8 月 8 日、部活の活動として白山に登ってきました。コロナウイルスの影響で大学からの許可が下りないため、テント泊等の活動は出来ず、日帰りでの登山となりました。近年、コロナウイルスの影響でなかなか部としての活動が制限されていたので、石川県金沢市に住んでいながらも白山に登ったことのない部員も多くとても思いで残る山行になりました。今回はOB、OGの方々に金銭面での支援を受けて、バスを手配し全員バスで登山口まで向かいました。本当にありがとうございました。

当日の予定は以下のように活動しました。

5:30 杜の里イオン集合
7:00 登山開始
11:30~12:00 頃 登頂
17:00 下山完了
18:30 杜の里イオン 解散

ルートは、班によって異なり、以下のようなルートを使いました。

- 1 別当出会→砂防新道→黒ボコ岩→室堂→御前峰 (ピストン)
- 2 別当出会→砂防新道→黒ボコ岩→室堂→御前峰→室堂→黒ボコ岩→観光新道→別当出会
- 3 別当出会→砂防新道→エコーライン→室堂→御前峰→室堂→黒ボコ岩→砂防新道→別当出会
- 4 別当出会→砂防新道→黒ボコ岩→室堂→御前峰→お池巡り→室堂→御前峰→室堂→黒ボコ岩→砂防新道→別当出会

当日の天気は曇りでした。バスの中から見ると白山市街の天気は晴れていたため、少し期待をもって登山口に向かっていましたが別当出会につくと上の方は雲がかかっていて、山の天気の違いを

改めて感じさせられました。



別当出会 2022. 8. 8 撮影

別当出会からは1班5~6人、全6班で行動しました。砂防新道から登った班は中飯場から少し上で霧の中になり、観光新道から登った班は最初の急坂を終え、稜線に出る手前くらいで、霧の中の世界になりました。その後も各班が決めたルートで登りました。体調不良者が数名出てしまい、ほんの数名だけは登頂とはいきませんでしたが、ほとんど部員全員が登頂することができました。途中、とてもつらそうな部員もいましたが、班全体で励ましあいながら登っていく姿も見られ、部全体の中も深まったと思います。体調不良者がいた班も協力して荷物を持ったり助け合ったり、休憩をこまめにしたり、適切に行動できたと思います。

登頂時は霧の中でしたが、達成感に満ち溢れていました。登頂後は、山頂お池巡りを試みた班もありましたが、キリでなかなか見えませんでした。



御前峰 2022. 8. 8 撮影

登頂後、下山しているといきなり霧が晴れてきました。室堂からは、山頂もくっきりと見ることができました。



室堂 2022. 8. 8 撮影

下山時の弥陀ヶ原や観光新道、砂防新道などでも眺望が望めたり、たくさんの高山植物なども見られ、とても楽しめたと思います。



室堂直下から見た弥陀ヶ原 2022. 8. 8 撮影

下山でも疲れた部員を励ましあいながら、全員が無事に下山することができました。

終わりに

4月から、たくさんの新入生が入部してくれて、8月の白山登頂を目標にして、毎月、部として活動してきました。4月から、登山の基本的な装備や知識を勉強したり、医王山、奥獅子吼山などで実際にトレーニングを重ねてきました。コロナ渦前の部活を知らない3年生まで部員だけでの活動が多く、分からないことなどもありましたが、今回の白山ではほとんどの部員が登頂出来てよかったと思っています。また、体調不良で登れなかった部員への対応も適切に行うことができ、大きな事故やけがもなく全員が無事に下山できたこともよかったと思います。また、山の天気の変り変わりの早さを肌で感じたり、高所の気温の低さを肌で感じたりと多くのことを実際に学べたと思います。

残念ながら、山頂からの景色は見ることはできませんでしたが、下山中に素晴らしい景色を見ることができ、「また登ってみたい」「違うルートから行ってみたい」などという気持ちにもなれ、モチベーションアップにつながったと思います。

これからの活動では、大学からの規制も緩まり、テント泊の活動なども可能になると思います。そうなったら、経験者を中心に教えあいながら、どんどん活動を活発にしていきたいと考えています。北アルプスや中央アルプス、南アルプスなどの景色は、白山にはないような素晴らしい景色があるので、そういった場でも活動していきたいと思っています。

今回、OB、OGの方々にはたくさんの支援を頂き活動させていただきました。本当にありがとうございました。